

## コロナワクチン接種後死亡は 47 件増えて 1967 件に 厚労省報告

1/25 日刊ゲンダイ



各社しのぎを削って開発するが… (C) ロイター＝共同

厚労省は今年 20 日、新型コロナウイルスワクチンの接種と副反応との関連性を議論する専門部会を開催した。同会に提出した資料によると、予防接種開始（2021 年 2 月 17 日）から 22 年 12 月 18 日までに新型コロナウイルスワクチン接種後の死亡として報告・評価されたのは 12 歳以上で 1963 件（ファイザー社製 1751 件、モデルナ社製 211 件、武田社製ノババックス 1 件）。ファイザー社製 5～11 歳用 3 件の計 1966 件だった。このほかに、2022 年 9 月 30 日で使用中止となったアストラゼネカ社製 1 件がある。

前回 12 月 16 日の同部会で公表された評価件数は 22 年 11 月 13 日までの接種後死亡事例 1919 件（ファイザー社製 1707 件、モデルナ社製 209 件、武田社製ノババックス 1 件、ファイザー社製 5～11 歳用 2 件）。つまり 35 日間に 47 件増えたことになる。

専門部会では 22 年 12 月 18 日までに報告された 12 歳以上の 1963 件の死亡とワクチン接種との関連について、 $\alpha$ =ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの、 $\beta$ =ワクチンと死亡との因果関係が認められないもの、 $\gamma$ =情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの——と評価している。その結果は以下の通り。

▼ファイザー社製  $\alpha$ =0 件、 $\beta$ =10 件、 $\gamma$ =1740 件

▼モデルナ社製  $\alpha$ =0 件、 $\beta$ =1 件、 $\gamma$ =210 件

▼武田社製ノババックス  $\alpha$ =0 件、 $\beta$ =0 件、 $\gamma$ =1 件

また、ファイザー社製 5～11 歳用の 3 件については、いずれも「情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの」と評価された。